



「桃ノ木川の群」 P10 岩彩

2020 画廊企画 PART2

須藤和之 展

- 桃ノ木川 -

2020年2月8日 [土] - 16日 [日]

am10:30-pm7:00 (11日火曜休廊・最終日pm5:00迄)

前橋市の中央部を流れる「桃ノ木川」 かつて毎日のように赤城山麓近くの自宅から、前橋の南部に位置する母校まで自転車で片道1時間近くかけ、雨の日も、台風のように吹き荒れる空っ風の日も、雪がちらつく極寒の日さえも、道中にある普段は穏やかな小川のような桃ノ木川の橋を渡り通った場所。季節や天候によって大きく表情を変えるこの川は、美大を目指す高校生時代の須藤の脳裏に深く刻まれ、単なる日常の風景の一部とは異なる特異な存在になっていったのだろう。今や全国区で活躍し様々な地方の風景さえも描く作家が、この特別な思いのある原風景であるローカルな桃ノ木川をあえて描くことは、全国的な作家になった今でも故郷をこよなく愛す、この作家の変わらぬ立ち位置としての制作姿勢がよく反映されているのだと 納得させられるのです。

画廊主・梅津宏規

1981 群馬県生まれ/10東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復日本画博士課程修了博士号取得 [現在] 日本美術院院友/慶応義塾大学非常勤講師/06第3回前田青邨記念大賞展奨励賞(同08)/再興第91回院展初入選/06第62回春の院展初入選/07 東京藝術大学大学院修了制作・東京藝術大学賞上/09有芽の会(池袋西武)日本更正保護協会理事長/10東京藝術大学大学院博士課程修了博士審査・お仏壇のはせがわ賞特別賞/11平成22年度前橋市収蔵美術展「風景の裏側」出品/13アーツ前橋開館記念展「カゼイロノハナ・未来への対話」(アーツ前橋)/群馬銀行創立80周年記念作品「群馬の四季」完成/15第66回群馬県美術展・群馬県議会議長賞/17個展「季節をわたる風」/第68回群馬県展・知事賞/19「TOP RUNNER III 坂本幸重・井田昌明・若山卓・須藤和之」(高崎タワー美術館) [主な個展] ギャラリー和田(銀座)画廊翠巒(前橋)/GALLERY SEEK(銀座)/伊藤忠青山アーツスクエア(青山)/株式会社ヤマト(前橋)/日本橋三越(東京)/その他



371-0801 群馬県前橋市文京町1-47-1
TEL 027(223)6311(代) FAX 027(221)5909
E-mail suiran@suiran.com URL <http://www.suiran.com/>

